

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス

コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 堀田 欣弘

TEL 03-3254-2501

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	3,295	1.6	773	12.3	772	11.5	693	△7.1
25年2月期第3四半期	3,244	16.4	689	102.3	692	101.0	746	144.9

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 694百万円 (△7.0%) 25年2月期第3四半期 746百万円 (144.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	23.60	—
25年2月期第3四半期	24.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	4,399	3,876	88.1
25年2月期	4,204	3,579	85.1

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 3,876百万円 25年2月期 3,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,334	1.4	817	12.5	817	12.2	754	△5.5	25.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	33,637,249 株	25年2月期	33,637,249 株
26年2月期3Q	4,443,975 株	25年2月期	3,743,975 株
26年2月期3Q	29,375,965 株	25年2月期3Q	30,699,968 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速懸念等から先行き不透明な状態で推移しましたが、政府や日銀による金融緩和をはじめとする経済政策への期待感から円安や株式市場が堅調に推移している状況を背景に、企業収益は回復傾向にありました。

雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲は回復傾向にありました。当社の戦略地域である静岡県においては有効求人倍率が昨夏以降、全国値を下回って推移している状況は継続されているものの、緩やかながらも改善傾向にありました。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力しました。

静岡地域においては、既存事業で培った販売網、流通網を有効活用し、前連結会計年度に創刊したペット関連情報誌『WONDERFUL STYLE (ワンダフルスタイル)』を平成25年5月より定期刊行化しました。また、平成25年5月に静岡県内西部地区、平成25年11月には静岡県内中部地区で『DOG (ドッグ) ! フェスタ』を開催する等、新たな地域密着型の取組みを推進しました。

正社員向け求人サービスにおいては、前連結会計年度に正社員向けに静岡エリアと名古屋エリアでオープンした転職・就職サイト『JOB (ジョブ)』に関東・関西エリア、4エリアすべてを網羅した総合版をオープンさせました。また、合同企業面談会『シゴトフェア』を静岡地域及び名古屋地域で各2回開催し、人材サービスを拡大した取組みを展開しております。

また、求人情報誌『DOMO (ドモ)』静岡東部版では平成25年9月より新規顧客の獲得に向け、新たに伊豆・箱根地域に配布先を設け、販売エリアを拡充しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は3,295百万円(前年同四半期比1.6%増)となりました。売上原価は、行政案件の期間満了による労務費の減少等のため915百万円(前年同四半期比11.6%減)、販売費及び一般管理費は、人件費、広告・販促費等が増加したため、1,605百万円(前年同四半期比5.7%増)となり、営業利益は773百万円(前年同四半期比12.3%増)、経常利益は772百万円(前年同四半期比11.5%増)、四半期純利益は、税制改正等により税金費用が増加し、693百万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。

セグメント別の業績(セグメント間の内部取引消去前)を示すと、次のとおりであります。

(情報提供事業)

情報提供事業では、当社の戦略地域である静岡県の求人市場が緩やかながらも改善傾向にありました。『DOMO』静岡県内3版は前年同四半期と比較し発行回数が減少したため、売上高は横ばいとなりました。しかしながら、新規に投入した『JOB』やSP商品『WONDERFUL STYLE』の販売が奏功し、売上高は2,734百万円(前年同四半期比5.1%増)、セグメント利益は1,129百万円(前年同四半期比5.3%増)となりました。

(販促支援事業)

販促支援事業では、フリーペーパーの取次において既存顧客の拡大並びに首都圏・中京・関西地域での新規受注が堅調に進み、また、ダイレクトプロモーションにおける顧客獲得が順調に進んだ結果、販促支援事業における売上高は564百万円(前年同四半期比7.9%増)、セグメント利益は93百万円(前年

同四半期比21.4%増)となりました。

(その他事業)

その他事業では、静岡県から緊急雇用創出事業に関する案件が平成25年3月に期間満了したため、売上高は14百万円(前年同四半期比89.4%減)、セグメント利益は8百万円(前年同四半期は0百万円の損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,399百万円(前連結会計年度末比4.6%増)、負債が523百万円(前連結会計年度末比16.3%減)、純資産が3,876百万円(前連結会計年度末比8.3%増)となりました。また、自己資本比率は88.1%となりました。

資産の部では、流動資産が3,550百万円(前連結会計年度末比7.3%増)となりました。内訳として、現金及び預金が2,665百万円(前連結会計年度末比8.1%増)、営業債権(受取手形及び売掛金)が571百万円(前連結会計年度末比8.8%増)等となったためです。

固定資産は848百万円(前連結会計年度末比5.2%減)となりました。内訳として、有形固定資産が624百万円(前連結会計年度末比0.9%減)、無形固定資産が81百万円(前連結会計年度末比18.4%減)、投資その他の資産が143百万円(前連結会計年度末比13.6%減)となったためです。

負債は523百万円(前連結会計年度末比16.3%減)となりました。これは、未払金が336百万円(前連結会計年度末比12.8%減)、賞与引当金が60百万円(前連結会計年度末比53.4%減)等となったためです。

純資産は3,876百万円(前連結会計年度末比8.3%増)となりました。これは、四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が3,496百万円(前連結会計年度末比16.1%増)、自己株式の取得により自己株式が617百万円(前連結会計年度末は429百万円)となったためです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期業績予想につきましては、平成25年4月9日付「平成25年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,852	2,665,100
受取手形及び売掛金	524,655	571,016
その他	319,712	315,294
貸倒引当金	△700	△600
流動資産合計	3,309,520	3,550,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	159,090	157,556
土地	444,475	444,475
その他(純額)	26,394	22,350
有形固定資産合計	629,959	624,382
無形固定資産		
ソフトウェア	88,737	70,493
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	99,343	81,100
投資その他の資産		
その他	167,864	145,071
貸倒引当金	△1,838	△1,685
投資その他の資産合計	166,026	143,386
固定資産合計	895,329	848,868
資産合計	4,204,850	4,399,679
負債の部		
流動負債		
未払金	386,551	336,945
賞与引当金	129,044	60,187
その他	109,942	125,951
流動負債合計	625,538	523,084
固定負債		
その他	—	391
固定負債合計	—	391
負債合計	625,538	523,476

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	3,012,844	3,496,943
自己株式	△429,955	△617,944
株主資本合計	3,579,311	3,875,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	782
その他の包括利益累計額合計	—	782
純資産合計	3,579,311	3,876,203
負債純資産合計	4,204,850	4,399,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	3,244,711	3,295,580
売上原価	1,035,723	915,953
売上総利益	2,208,987	2,379,627
販売費及び一般管理費	1,519,744	1,605,829
営業利益	689,243	773,797
営業外収益		
受取利息	339	394
受取賃貸料	—	560
助成金収入	1,567	1,402
その他	3,394	381
営業外収益合計	5,301	2,738
営業外費用		
自己株式取得費用	1,475	1,905
投資事業組合運用損	—	1,325
その他	311	635
営業外費用合計	1,786	3,866
経常利益	692,758	772,670
税金等調整前四半期純利益	692,758	772,670
法人税、住民税及び事業税	3,613	64,400
法人税等調整額	△57,396	14,917
法人税等合計	△53,783	79,318
少数株主損益調整前四半期純利益	746,541	693,352
四半期純利益	746,541	693,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	746,541	693,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	782
その他の包括利益合計	—	782
四半期包括利益	746,541	694,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	746,541	694,134
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	情報提供	販促支援	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,601,900	504,216	3,106,116	138,595	3,244,711	—	3,244,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	18,975	18,975	—	18,975	△18,975	—
計	2,601,900	523,191	3,125,092	138,595	3,263,687	△18,975	3,244,711
セグメント利益又は損失(△)	1,072,738	77,148	1,149,887	△643	1,149,243	△459,999	689,243

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材サービス等であります。
 2. セグメント利益の調整額△459,999千円は、セグメント間取引消去4,100千円及び全社費用△464,099千円であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	情報提供	販促支援	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,734,469	546,352	3,280,821	14,759	3,295,580	—	3,295,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	17,952	18,046	—	18,046	△18,046	—
計	2,734,563	564,304	3,298,867	14,759	3,313,627	△18,046	3,295,580
セグメント利益	1,129,760	93,652	1,223,413	8,876	1,232,289	△458,492	773,797

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材サービス等であります。
 2. セグメント利益の調整額△458,492千円は、セグメント間取引消去3,330千円及び全社費用△461,822千円であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成25年4月9日開催の取締役会に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が187,989千円増加し、当第3四半期連結累計期間末において617,944千円となっております。